

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	小児頭部 CT における DRLs2025 超過要因の解析と撮影運用改善の検討		
1. 研究の目的と方法	<p>CT検査の最適化を行うために診断参考レベル (diagnostic reference level:以下DRL) が被ばく線量の指標として用いられています。DRLs2025と当院の小児頭部CT撮影における被ばく線量を比較した結果、CTDIvol<sup>※1</sup>は全年齢でDRLsの値を下回っていたものの、一部年齢群においてDLP<sup>※2</sup>の超過が見られました。本研究の目的は、これらの要因を明らかにし、撮影条件等の妥当性及び運用上の課題について再検討することです。頭部CT撮影を行なった小児患者のデータを対象とし、線量情報や撮影画像を分析し、評価を行います。</p> <p>※1 CTDIvol (Volume CT dose index) …X線CT検査における被ばく線量の標準的な指標。ある1点の吸収線量をもって表す。 ※2 DLP (線積分線量 : dose length product) …スキャン範囲全体の線量。CTDIvolに撮影範囲を乗じたもの。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院において、2024年1月1日～2025年12月31日までの間にSiemens社製CT装置であるSomatom Definition FLASHで頭部CTを撮影した0歳以上15歳未満の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	CT検査画像、撮影条件、被ばく線量の指標、患者年齢	
	(4) 情報の取得の方法	RDSR (Radiation Dose Structured Report) より線量データを収集します。診療録からデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院・放射線部
		氏名	渡辺愛菜
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学附属病院・放射線部 平川英滋	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年6月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院・放射線部 研究責任者：診療放射線技師 渡辺 愛菜（わたなべ あいな） 電話番号：03-3433-1111（内線 3377） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。